

SBL 通信

第16号



2024年6月発行 仙台市危機管理局減災推進課

◆ 能登半島地震と仙台市のリスク ◆

元日に発生した能登半島地震では、地震の揺れのほかに津波や火災、液状化現象などが複合的に発生し、大規模な被害が出ました。仙台市でも同じような災害が起きる可能性は十分に考えられます。まずは、自分が住んでいる地域にどのような災害リスクがあるかを確認し、そのリスクに応じて適切な備えをすることが大切です。

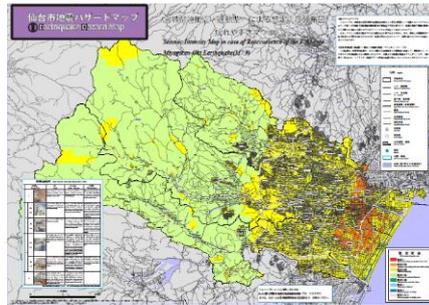
◎仙台市の地震リスク

揺れが大きかった輪島市や珠洲市では多くの住宅が倒壊しました。また、震源は内陸でしたが、半島周辺の沿岸に伸びる約 150 kmの断層帯がドミノ倒しのように連動してずれ動いたことで、津波が発生したと言われていています。宮城県沿岸にも断層帯が存在し仙台市内では最大震度 6 弱、最大高 2.6mの津波が想定されています。さらに巨大な津波を伴う超巨大地震や直下型地震を引き起こす長町利府断層帯などが存在するため、仙台市は地震のリスクが多い都市のひとつです。



◎災害リスクの共有

仙台市は地震が発生した場合の“震度”と“建物への影響”を地図に記載した「地震ハザードマップ」を作成し、ホームページなどで公開しています。また、津波が発生した場合に避難が必要となるエリアや避難所を示した「津波ハザードマップ」も作成しています。地域で想定される地震や津波のリスクを確認し、町内会や自主防災組織で共有することが重要です。



仙台市地震ハザードマップ

◎住宅の耐震化

輪島市や珠洲市は 1981 年以前(旧耐震基準)に建てられた住宅の被害が目立ちました。仙台市にも、旧耐震基準の住宅もまだ存在します。市では、耐震の診断や補強にかかる費用の補助を行っています。皆さんの地域に該当する住宅がある場合は、まずご相談をお願いします

SBL 活動について 中田中部町内会連合会 防災部長 SBL 鈴木利一

私たちの町内会連合会は 9 町内会の連合会で、私は防災部を担当しています。東日本大震災翌年の平成 24 年 5 月中田中部町内会連合会防災部が発足し、現在までの 12 年間防災勉強会の活動を継続しています。主な活動は次の通りです。

◆令和 5 年度の主な訓練等◆

- 4月 防災連絡網確認(各町内での部長任期 2 年)
- 5月 袋原小学校指定避難所運営マニュアル訂正について
- 6月 SBL 新規養成講習会、受講者の推薦を行う
- 7月 災害時給水栓の使用方法について訓練
 - ・発電機、水中ポンプ、取扱い訓練(非常時にトイレの水が出ないときプールより汲み上げ使用)
 - ・防災設備倉庫点検および確認
- 8月 マイ・タイムライン作成ガイドについて説明実施
- 9月 防災訓練実施要領をどのような内容にするか討議
- 10月 防災訓練(239 名参加)
 - 太白消防署中田出張所、太白消防団東中田分団の指導のもと、下記の内容で訓練しました。
 - ・ガス局員によるガスマイコンメーター取扱い訓練
 - ・緊急救護訓練(毛布による担架作り、買い物袋による三角巾作り)

- ・水消火器による初期消火訓練(消火体験装置使用)
- ・停電時に使える自動販売機の使い方訓練
- 11月 震災時のビデオ鑑賞
- 12月 LP ガス発電機「エネポ」操作訓練
- 令和 6 年 1 月 避難情報警戒レベルと避難情報
- 2月 津波の仕組みと特徴について
- 3月 袋原小学校指定避難所運営委員会(53 名参加)



平成 29 年度 中田中部地区の一時避難場所・指定避難所 MAP を地区全世帯 4,550 部配布

東日本大震災後、「あの震災を忘れないように」と、毎年 3 月 11 日前後に勉強会を開催しています。今年の講演会は「防災について」と題し、講師として仙台市防災・減災アドバイザー早坂政人氏よりご講演をいただきました。

シェイクアウト訓練ってなんだ？

仙台市では、昭和53年に宮城県沖地震が発生した6月12日「市民防災の日」（又はその前後）に、仙台市シェイクアウト訓練を行っています。

「シェイクアウト（ShakeOut）訓練」という言葉は、まだまだ耳慣れない方もいらっしゃると思いますが、日本語では「身体保護訓練」などと言ったりしています。

地震が起きた時、最優先にすべきは自分の身を守ることです。シェイクアウト訓練は、地震の際に身を守る3つの行動「**まず低く、頭を守り、動かない**」～姿勢を低くして、机などの下に隠れたり、カバンや手を使ったりして頭を守り、揺れが収まるまで動かない～を身に付ける訓練です。



提供：日本シェイクアウト提唱会議



報告用 QR コード

今年の仙台市シェイクアウト訓練は、**6月12日（水）の午前9時45分**に地震が発生するという想定です。時間になりましたら、3つの行動をお願いします。訓練は、1分あればできます。

昨年度の仙台市シェイクアウト訓練には、53,000人以上の方々に参加していただきました。今年も多くの皆さんの参加をお待ちしております。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

仙台防災未来フォーラムを見て

原町地区 SBL 高畑信子

今年も多くの人々で賑わい、盛沢山の発表で満席の盛況。展示ブースは例年と比べ、学生さん達のブースが多く、東日本大震災の記憶が薄い若者がこの13年間で何かに出会い、今ここで展示発表をしている事が未来フォーラムに相応しく思えとても嬉しく感じました。子どもも学べるマークと防災減災アドバイザー出展者紹介コーナーの情報を頼りに、会場を巡りました。六郷地区のジオラマの地域活動に拍手し、私の地域も頑張ろうと元気が出ました。来年は更に多くの出展を期待しています。

桂地区防災訓練のDX化について

桂パークハウス北街区自治会 SBL 山本 寿充

令和5年度の桂地区防災訓練は、桂デジタルコミュニティと呼ぶ「グループアプリ」を利用した訓練を行いました。「桂デジタルコミュニティ」とは、地域内の各町内会長・自治会長や社会福祉協議会等、様々な団体の代表者を結ぶグループ間ネットワークのシステムです。

今回の訓練では当システムを活用した安否確認を主とし、Google Forms（以下 Forms）と連携しての安否状況集約、体育館への避難者数や要援護者氏名及び人数の迅速な把握等、発災から避難所・補助避難所の開設に必要な情報収集を短時間でシミュレーションする計画としました。

以下は実際に行った訓練の流れです。



発災（花火）⇒安否確認開始（各町内会長・各自治会長）⇒安否確認（安全シール確認）⇒安否報告（結ネットから Forms を起動し入力）⇒連合町内会長&SBL が安否状況等（避難希望者等）を把握⇒連合町内会長が避難者受け入れ可能数の把握と災害時要援護者の把握

発災直後の被害状況把握は手作業が多く、また避難所開設は混乱すると想定されますが、開設までの流れを限られた時間で確認できる貴重な経験でした。

ホームページやブログ等を立ち上げている団体（個人）であれば上記 Forms の仕組みを活用できるので、防災訓練のDX化に是非チャレンジしてみてください。

令和6年度

SBL 全市バックアップ講習会日程

月日	会場
10月16日（水）	太白区中央市民センター 3階大会議室
10月17日（木）	太白区中央市民センター 3階大会議室
10月20日（日）	オンワード樺山仙台ビル 10階会議室

SBL 活動報告書様式を仙台市 HP に掲載しました！

ホーム > 暮らしの情報 > 暮らしの安全・安心 > 防災・災害対策 > 災害に備えて > 地域の防災対策 > 仙台市地域防災リーダー（SBL）

活動報告書の提出はメールでも受け付けております。

kks000130@city.sendai.jp



編集後記

元旦の能登半島地震には本当に驚きました。地震災害はいつやってくるかわからないとは言え、まさか年の初めの元旦とは…新年から、全国で防災用品を買い求める方が多かったようです。6月は46年前宮城県沖地震の発生した月、6月12日は「市民防災の日」です。お住まいの地域及びご家庭での「シェイクアウト訓練」の報告をお願いいたします。

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号 仙台市役所本庁舎2階 仙台市危機管理局減災推進課

TEL 022-214-3109(直通) FAX 022-214-8096 Eメールアドレス：kks000130@city.sendai.jp

掲載してほしい情報や活動などがありましたら、是非ご連絡ください！ 活動報告やご意見・ご相談もお待ちしております！！